

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公表番号】特表2016-517649(P2016-517649A)

【公表日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2015-561336(P2015-561336)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 06 F 3/0484 (2013.01)

G 06 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

H 04 N 5/91 N

G 06 F 3/0484 1 5 0

G 06 F 3/0488

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月27日(2016.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を変更する方法であって、

画像を表示するステップと、

第1のユーザ起動のジェスチャに対応する第1の制御信号を受信するステップと、

前記第1の制御信号に応答して第1の効果制御モードを起動するステップと、

第2のユーザ起動のジェスチャに対応する第2の制御信号を受信するステップと、

前記第2の制御信号に応答して前記画像の変更されたバージョンを表示するステップと

、

を含む、前記方法。

【請求項2】

前記画像は、前記第2の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記画像の変更されたバージョンを前記表示するステップは、前記第2の制御信号に応答してグラフィカルユーザインタフェースを表示することを含まない、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

第3のユーザ起動のジェスチャに対応する第3の制御信号を受信するステップと、

前記第3のユーザ起動のジェスチャに応答して第2の効果制御モードを起動するステップと、

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第2の効果制御モードは、前記第1の効果制御モードに関連する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる色調を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる輝度を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なるコントラストを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第1の部分の間は第1のレートで、および前記第2のユーザ起動のジェスチャの第2の部分の間は第2のレートで、前記画像を変更することになる、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、タッチスクリーンを横切って指をスイープ(sweep)することに対応する、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記第1の制御信号及び前記第2の制御信号はタッチスクリーンとの接触に応答して生成され、制御指示が前記第1の効果制御モードに関して表示されない、請求項1に記載の方法。

【請求項12】

前記第2のユーザ起動のジェスチャの反転(reversal)に応答する前記第2の制御信号に応答して、前記画像の変更なしのバージョンを表示するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

前記第2のユーザ起動のジェスチャに応答して視覚的指示を生成するステップをさらに含み、前記視覚的指示は、前記ジェスチャの開始位置を示す、請求項1に記載の方法。

【請求項14】

前記視覚的指示は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの視覚的表現をさらに示す、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

前記視覚的指示は、タッチスクリーン上の接点の周りの円である、請求項13に記載の方法。

【請求項16】

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第1の部分の間は、前記画像の変更の漸進的な増加をもたらし、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第2の部分の間は、前記画像の前記変更の漸進的な減少をもたらす、請求項1に記載の方法。

【請求項17】

前記第2のユーザ起動のジェスチャの前記第1の部分と前記第2のユーザ起動のジェスチャの前記第2の部分との間の変化は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の変化に応答する、請求項16に記載の方法。

【請求項18】

前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の変化は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の反転である、請求項17に記載の方法。

【請求項19】

ユーザ起動のジェスチャを受信するタッチセンサ式制御デバイスと、  
前記ユーザ起動のジェスチャに応答して複数の制御信号を生成するコントローラと、  
第1のユーザ起動のジェスチャに対応する第1の制御信号を受信し、前記第1の制御信号に応答して第1の効果制御モードを起動し、第2のユーザ起動のジェスチャに対応する第2の制御信号を受信し、前記第2の制御信号に応答して画像の変更されたバージョンを

表現するデータを生成するプロセッサであって、前記画像は前記第2の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、前記プロセッサと、

前記画像を表示するよう作動するディスプレイであって、前記ディスプレイは前記画像の前記変更されたバージョンを表示するようさらに作動する、前記ディスプレイと、  
を備える、装置。

【請求項20】

前記タッチセンサ式制御デバイス、前記コントローラおよび前記ディスプレイは、タッチクリーンディスプレイの部分である、請求項19に記載の装置。

【請求項21】

メモリをさらに備え、前記メモリは、ビデオ効果プロセスに対応する複数のサブルーチンを記憶する、請求項20に記載の装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

上記に図示および議論された要素は、ハードウェア、ソフトウェア、または、これらの組み合わせの様々な形式において実装され得ることが理解されるべきである。好適には、これらの要素は、プロセッサと、メモリと、入力／出力インターフェースとを含み得る、1または複数の適当にプログラムされた汎用デバイス上で、ハードウェアとソフトウェアとの組み合わせにおいて実装される。本説明は、本開示の原理を例示する。したがって、当業者は、本明細書において明示的に説明または図示されていなくても、本開示の原理を具現化し、その範囲内に含まれる様々な構成を考え出すことができる事が認識されるであろう。本明細書において記載された全ての例および条件付きの文言は、本技術分野を前進させるために本発明者によって寄与される本開示の原理および概念を読者が理解する際の助けとなるための情報目的を意図され、そのような具体的に記載された例および条件への制限はないものとして解釈されるべきである。さらに、本開示の原理、態様、および実施形態を記載した本明細書における全ての記述、およびそれらの具体的な例は、それらの構造的および機能的な等価物を包含することが意図される。また、そのような等価物は、現在知られている等価物と将来開発される等価物との両方、すなわち、構造に関わらず、同じ機能を実行する任意の開発された要素を含むことが意図される。したがって、例えば、本明細書に添付されるブロック図は、本開示の原理を具現化する例示の回路の概念的な図を表すことが当業者によって認識されるであろう。同様に、いかなるフローチャート、フロー図、状態遷移図、疑似コード等も、コンピュータ読取可能な媒体において実質的に表され、そのため、そのようなコンピュータまたはプロセッサが明示的に図示されていてもいなくても、コンピュータまたはプロセッサによって実行され得る様々なプロセスを表すことが認識されるであろう。

【付記1】

画像を変更する方法であって、

画像を表示するステップと、

第1のユーザ起動のジェスチャに対応する第1の制御信号を受信するステップと、

前記第1の制御信号に応答して第1の効果制御モードを起動するステップと、

第2のユーザ起動のジェスチャに対応する第2の制御信号を受信するステップと、

前記第2の制御信号に応答して前記画像の変更されたバージョンを表示するステップと

、  
を含む、前記方法。

【付記2】

前記画像は、前記第2の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、付記1に記載の方法。

[付記3]

前記画像の変更されたバージョンを前記表示するステップは、前記制御信号に応答してグラフィカルユーザインターフェースを表示することを含まない、付記3に記載の方法。

[付記4]

第3のユーザ起動のジェスチャに対応する第3の制御信号を受信するステップと、前記第3のユーザ起動のジェスチャに応答して第2の効果制御モードを起動するステップと、

をさらに含む、付記1に記載の方法。

[付記5]

前記第2の効果制御モードは、前記第1の効果制御モードに関連する、付記4に記載の方法。

[付記6]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる色調を有する、付記1に記載の方法。

[付記7]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる輝度を有する、付記1に記載の方法。

[付記8]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なるコントラストを有する、付記1に記載の方法。

[付記9]

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第1の部分の間は第1のレートで、および前記第2のユーザ起動のジェスチャの第2の部分の間は第2のレートで、前記画像を変更することになる、付記1に記載の方法。

[付記10]

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、タッチスクリーンを横切って指をスイープ(sweep)することに対応する、付記9に記載の方法。

[付記11]

前記制御信号はタッチスクリーンとの接触に応答して生成され、制御指示が前記第1の効果制御モードに関して表示されない、付記1に記載の方法。

[付記12]

前記第2の制御信号に応答して前記画像の変更なしのバージョンを表示するステップを含み、前記第2の制御信号は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの反転(reversal)に応答する、付記1に記載の方法。

[付記13]

前記第2のユーザ起動のジェスチャに応答して視覚的指示を生成するステップをさらに含み、前記視覚的指示は、前記ジェスチャの開始位置を示す、付記1に記載の方法。

[付記14]

前記視覚的指示は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの視覚的表現をさらに示す、付記13に記載の方法。

[付記15]

前記視覚的指示は、タッチスクリーン上の接点の周りの円である、付記13に記載の方法。

[付記16]

前記第2のユーザ起動のジェスチャは、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第1の部分の間は、前記画像の変更の漸進的な増加をもたらし、前記第2のユーザ起動のジェスチャの第2の部分の間は、前記画像の前記変更の漸進的な減少をもたらす、付記1に記載の方法。

[付記17]

前記第2のユーザ起動のジェスチャの前記第1の部分と前記第2のユーザ起動のジェス

チャの前記第2の部分との間の変化は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の変化に応答する、付記156に記載の方法。

[付記18]

前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の変化は、前記第2のユーザ起動のジェスチャの方向の反転である、付記17に記載の方法。

[付記19]

ユーザ起動のジェスチャを受信するタッチセンサ式制御デバイスと、

前記ユーザ起動のジェスチャに応答して複数の制御信号を生成するコントローラと、

第1のユーザ起動のジェスチャに対応する第1の制御信号を受信し、前記第1の制御信号に応答して第1の効果制御モードを起動し、第2のユーザ起動のジェスチャに対応する第2の制御信号を受信し、前記第2の制御信号に応答して画像の変更されたバージョンを表現するデータを生成するプロセッサであって、前記画像は前記第2の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、前記プロセッサと、

前記画像を表示するよう作動するディスプレイであって、前記ディスプレイは前記画像の前記変更されたバージョンを表示するようさらに作動する、前記ディスプレイと、

を備える、装置。

[付記20]

前記タッチセンサ式制御デバイス、前記コントローラおよび前記ディスプレイは、タッチスクリーンディスプレイの部分である、付記19に記載の装置。

[付記21]

メモリをさらに備え、前記メモリは、ビデオ効果プロセスに対応する複数のサブルーチンを記憶する、付記20に記載の装置。